

神河町【兵庫県】 歴史文化基本構想を活用した 観光拠点づくり事業



関西地方

■協議会メンバー…
地域住民／観光協会／商工会等
の関係団体／行政

■構想策定年度…
平成二十八年三月
■補助事業期間…
平成二十九年九月一日
平成三十年三月三十一日

歴史文化基本構想の概要

私たちの町、神河町では、文化財や地域で長く伝えられてきた“宝もの”を「歴史文化遺産」と呼び、次世代に受け継いでいくための様々な取組みを進め、まちづくりに活かしている。そして、歴史文化遺産を活かしたまちづくりをより一層効果的に進めていくために、「神河町歴史文化基本構想」「神河町歴史文化保存活用計画」を策定した。

観光拠点形成の方向性

- ・歴史文化遺産を検証し後世に伝える
- ・魅力と価値を体感できる場を整える
- ・学びと交流のフィールドづくり
- ・ものがたりを支える体制をつくる

観光に関する課題

- ・現況を損なわない復元整備
- ・地域内での価値や情報の共有
- ・地域外への情報発信
- ・有効活用のための補足調査

神河の魅力発信歴史ウォーク

普及啓発

関連文化財群の「かみかわ歴史文化ものがたり」のストーリー「但馬街道と生野鉱山寮馬車道に係るものがたり」と平成29年4月に日本遺産に認定された「播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道」の内容をもとに、沿道区域にある歴史文化遺産の魅力を高め、地域の誇りとして町内外にPRする。平成29年度は、神河町内の生野鉱山寮馬車道の約7.5kmにおいて歴史文化の解説や地域のおもてなしを楽しむウォークを開催した。



■KPI イベントへの参加者総数：500(H28)→2000(H31)

馬車道沿道観光拠点推進保存整備事業

活用整備

「唯一現存する馬車道」と呼ばれている生野鉱山寮馬車道の面影が残る里道を、往時を感じる空間として伝えるため整備を継続的に進める。平成29年度は、国道312号の隣接地に道の駅「銀の馬車道・神河」が建設されたことから、道の駅への来訪者を当該地へ誘導することも含め誘導案内のサインを設置した。サインは、既存のサインとの連動や周遊を促すものとした。



■KPI 町への入り込み観光客数：25,000人(H28)→40,000人(H31)

① 魅力ある体験メニューの開発

町内外の参加者に地域の食文化や民俗芸能を含む歴史文化を紹介したことにより、神河の魅力の発信に繋がった。今後は町内はもとより町外への発信に向けた取組みの充実を図っていききたい。

② 観光客の滞在時間が増加

平成29年11月25日にオープンした隣接の道の駅「銀の馬車道・神河」や商業施設との連携により町内への来訪者は大きく増加した。今後は町域を超えた連携をとり来訪者の増加を図り観光振興に努める。



事業概要



成果